

静岡県東部地域企業経営動向調査

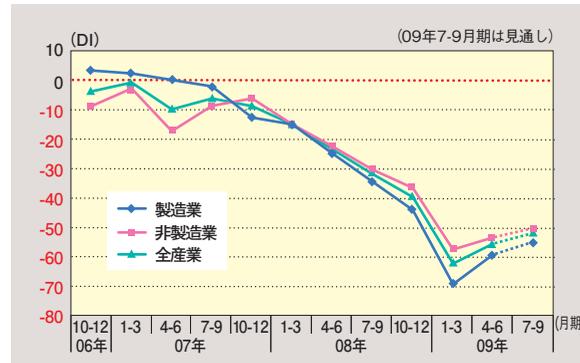
(2009年4-6月期実績、2009年7-9月期見通し)

1 業況概要 (自社)

業況判断DIは若干上昇に転じるも、依然低水準

静岡県東部地域における09年4-6月期の業況判断DI(全産業)は、-55.6(前期-62.4)と前期の大幅な下落から反転して若干上昇したものの、依然として低水準にとどまり、引き続き厳しい業況判断となっている。うち、製造業は-59.3(同-69.4)、非製造業では-53.5(同-57.6)で、製造業の回復幅が若干大きく、非製造業との差は縮小している。

09年7-9月期のDI(全産業)は今期比若干の回復を予想しているが、-52.0(うち製造業-55.0、非製造業-50.3)と低い水準にとどまり、明確な回復傾向は当面期待薄の状況とみられる。



業種別天気図



(09年7-9月期は見通し)

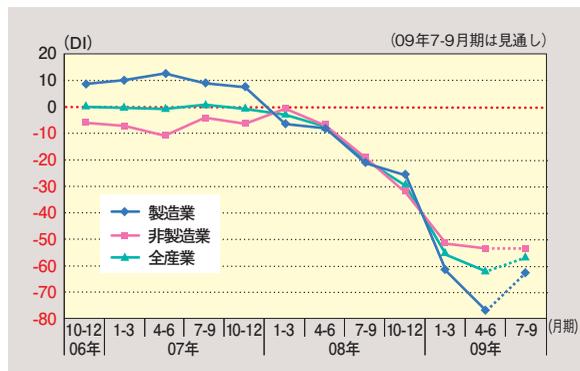
年次	製造業				非製造業			
	食品	紙・パルプ・紙加工品	一般機械器具	卸・小売・サービス業	旅館・その他宿泊所	建設業		
2009年1-3月期	☁	☁	☁	☁	☁	☁		
2009年4-6月期	☁	☁	☁	☁	☁	☁		
2009年7-9月期	☁	☁	☁	☁	☁	☁		

2 売上動向

製造業はさらに悪化、非製造業も若干の低下

09年4-6月期の全産業の売上動向DIは-62.2(前期-55.9)で、大幅な下落を示した前期の水準からさらに悪化し、7期連続の低下となった。うち、製造業ではパルプ・紙・紙加工品を含め全業種でDIが低下し、全体DIは-77.1(同-62.0)とさらに悪化した。一方、非製造業では旅館・その他宿泊所や建設業でDIが上昇したが、その他では下落したため、全体DIは-53.5(同-51.7)と小幅ながら低下している。

09年7-9月期(見通し)のDIは全産業で-56.8と今期比若干の上昇となっている。うち、製造業は-62.4と上昇を見込んでいるが、非製造業は-53.5で今期比横ばいを予想している。

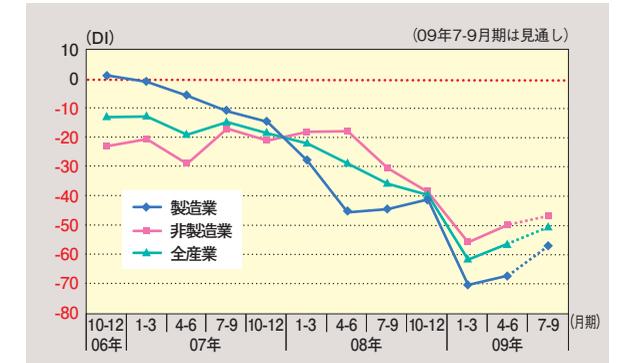


3 利益動向

製造業、非製造業ともDI上昇も、依然低い水準にとどまる

09年4-6月期の全産業の利益動向DIは-56.1(前期-61.6)で、7期ぶりに上昇となった。うち、製造業は食品や一般機械器具でDIが低下したが、パルプ・紙・紙加工品やその他製造業では上昇し、全体DIは-67.0(同-70.2)と若干上昇した。一方、非製造業でも建設業を除く業種でDIが改善され、全体DIは-49.7(同-55.7)と上昇したが、いずれもDIの絶対的な水準は低く、本格的な回復には時間を要するとみられる。

09年7-9月期(見通し)のDIは、全産業で-50.5と今期比やや上昇している。うち、製造業は-56.9、非製造業は-46.7といずれもDIの上昇を見込み、下げ止まりへの期待感が出ている。



4 経営上の問題点

「受注・売上の停滞・減少」「過当競争・製品安」に問題点が集中

「受注・売上の停滞・減少」の回答比率は81.0%(前期81.9%)と高水準で推移、2位の「過当競争・製品安」も47.3%(同45.6%)と上昇しており、各企業の主要な問題点がこの2つに集中する状態が今期

も継続している。一方で「その他経費の増加」「原材料・仕入商品の値上がり」は比率・順位ともそれぞれ低下しており、原油価格上昇等の影響によるコスト上昇の重要性は著しく低下していることがうかがえる。

(社、%)

問題点	08年10-12月期		09年1-3月期		09年4-6月期		順位変動
	企業数	比率	企業数	比率	企業数	比率	
1. 受注・売上の停滞・減少	200	71.7	244	81.9	238	81.0	→
2. 過当競争・製品安	99	35.5	136	45.6	139	47.3	→
3. 人材の育成	87	31.2	87	29.2	86	29.3	→
4. 生産・販売能力の不足	41	14.7	45	15.1	61	20.7	↑
5. 従業員の高齢化	59	21.1	54	18.1	57	19.4	↓
6. 人件費の増加	27	9.7	47	15.8	48	16.3	→
7. その他経費の増加	53	19.0	50	16.8	46	15.6	↓
8. 原材料・仕入商品の値上がり	106	38.0	46	15.4	33	11.2	↓

※その他、今回は「雇用・設備投資の状況」についても特別調査を実施しております。調査結果は弊所ホームページをご参照ください。

調査の概要

1. 調査目的/静岡県東部地域(富士川以東)の景気動向と先行きを予測し、主要産業の実態を把握
2. 調査対象企業/静岡県東部地域に立地する企業1,020社 回答数294(回答率28.8%)
3. 調査方法/当研究所の指定した項目につき、記名式で実績と見通しを記入するアンケート調査
4. 調査対象期間/実績:2009年4-6月期 見通し:2009年7-9月期
5. 調査時点/2009年5~6月

DI:ディフュージョンインデックス(Diffusion Index)の略。「上昇/増加/好転」した企業割合から「下降/減少/悪化」した企業割合を差し引いたもので、業況判断を見る指標